

## 観光デザインは、 多彩な能力を身につけ、 現場に強い人材を養成

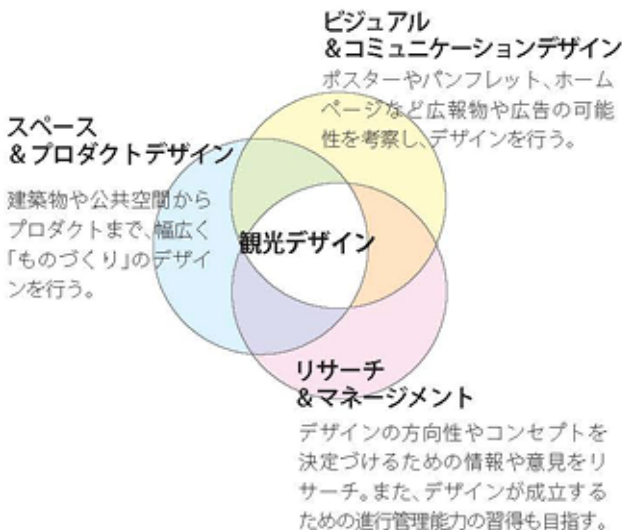
紹介してきたように、観光デザイン学科を卒業した先輩たちは、それぞれに自分の個性を生かし様々な業界に進んでいる。共通していえることは、社会の中で「即戦力」として活躍していることである。これは、観光デザイン学科が目指す8つの能力を身につけるために、在学中に学びと実践をくり返すことで得た「経験」が生きている。いわば学生時代に、模擬的に社会経験ができる環境があるといえよう。

もちろん、はじめは何もわからないところからのスタートで不安もあるだろうが、自分の興味を大切に、時には先生や友達の手を借りながら、自分にしかできない「観光デザイナー」になってほしい。

### □習得を目指す能力

プレゼンテーション能力	自分の作品を効果的に伝える術、人を説得するための能力。
コミュニケーション能力	会話から他者の気持ちやニーズを引き出し、自分の考えを正確に伝える能力。
プロデュース能力	客観的な立場からものごとを判断し、プロジェクトを成功に導く力。
企画力	社会が何を求めているかを知り、プランを形成する。
創造力	オリジナルな考え、真似できない作品、自分だけの表現を確立する。
調査・分析力	資料や現地調査を行って、テーマを取り巻く全体像を把握する。
行動力	実践するためにすぐ行動できる。機敏なフットワーク。
デザイン能力	「デザイン」に関わる多彩な力を横断的な学びから習得。

### □観光デザイン学科 分野構成



## ニーズを聞き出し、 その思いをかたちにする力を 発揮しています。



3期生  
エコツーリズム  
デザインゼミ専攻  
(現: 真板ゼミ)

- 名前  
高木優子
- 出身地  
京都市京都市
- 観光デザイン学科の志望動機  
「ものづくりがしたい!」と思ったから。
- こんな仕事をしています  
旅行会社で営業の仕事

「ものづくり」をしたくて入学したのですが、ゼミはいつもハイテクで元氣な先生の魅力に惹かれて、エコツーリズムデザインを専攻。ゼミでは、自分の考えをもとに、いかに社会的な意義を持ちながら企画を立てるか、プレゼンするか試行錯誤しながら学びました。卒業制作では、大台ヶ原を舞台にそこに棲息する生き物達のパズルを制作しました。高校まで特に絵の勉強をしていたわけではなかったのですが、大学に入った時は、デザインの基礎演習などの授業についていけないか不安でしたが、友達や先生から刺激を受け、最後には自分の思うようなものづくりができました。

今は、旅行会社で営業の仕事をしています。お客さまにニーズをお聞きし、具体的な旅行の提案をします。旅行業務を一貫して行う営業の仕事では、観光デザイン学科で身に付けたリサーチ、企画立案、プレゼン、企画を形にする力など、あらゆることが役立っています。自分の提案がお客さまのニーズに合い、採用されるとすごくうれしいし、おまけにその旅行に添乗することがあるのでとてもやりがいを感じています。



卒業制作「大台に見る自然空間」。自然破壊が進む大台ヶ原を守る人達の活動に感動し、この作品を媒介に大台ヶ原の現状や魅力を多くの人に知ってもらおうと制作。